

## 市政モニター調査結果

### 鉄道利用や鉄道事業見直しに対する意識調査について

平成 28 年 11 月に J R 北海道より「当社単独では維持することが困難な線区」の発表があり、旭川市を起終点とする宗谷本線、石北本線、富良野線が鉄道事業見直しの対象となっています。現在、関係する自治体において存続に向けた取組を行っていますが、市民の鉄道の利用状況や鉄道事業見直しに対する意識を把握することで、今後の取組に反映させていくため意識調査を行いました。

○調査対象 市政モニター（98人）

○調査期間 平成29年6月28日(水)～平成29年7月11日(火)

○回答者数 66人（回答率67.3%）

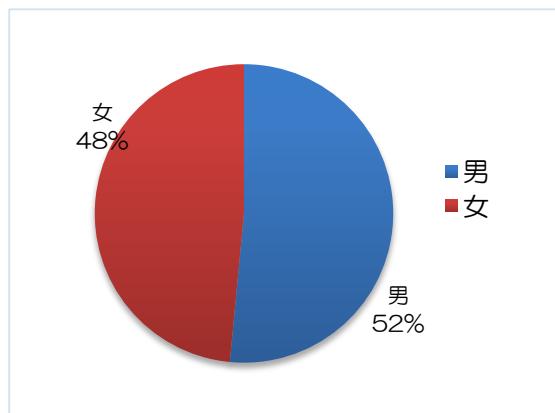
※ 設問ごとに、回答人数を「n=○」と表示しています。

#### 【回答者プロフィール】

##### 1 性別

項目	回答数
男	34
女	32
計	66

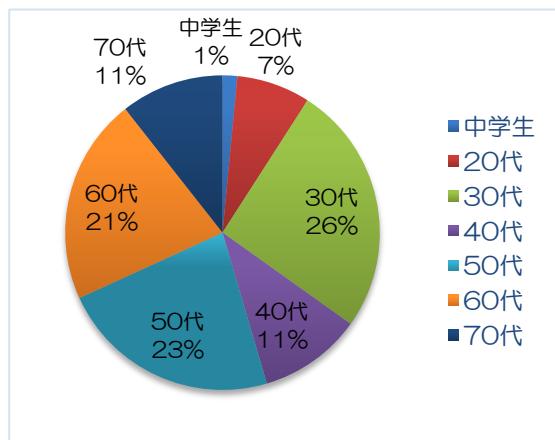
「n=66人」



##### 2 年齢

項目	回答数
中学生	1
20代	5
30代	17
40代	7
50代	15
60代	14
70代	7
計	66

「n=66人」



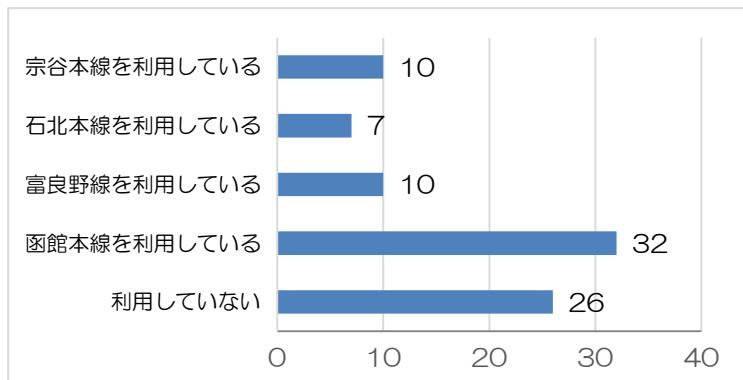
### 【回答結果】

【1】旭川を通る鉄道（宗谷本線、石北本線、富良野線、函館本線）を利用していますか。

（複数回答）

項目	回答数
宗谷本線を利用している	10
石北本線を利用している	7
富良野線を利用している	10
函館本線を利用している	32
利用していない	26
計	85

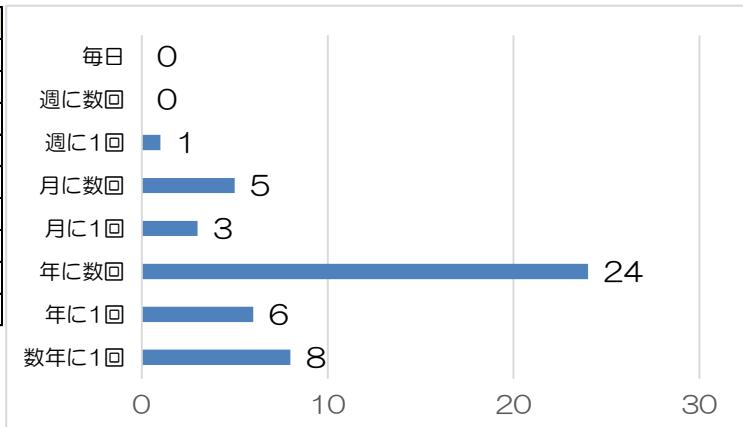
「n = 66 人」



【2】鉄道を利用している方は、どのくらいの頻度で利用されますか。

項目	回答数
毎日	0
週に数回	0
週に1回	1
月に数回	5
月に1回	3
年に数回	24
年に1回	6
数年に1回	8
計	47

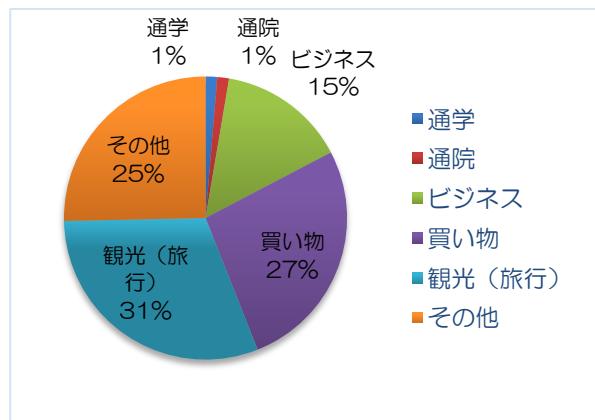
「n = 47 人」



【3】鉄道を利用している方は、主な利用の目的を選んでください。（複数回答）

項目	回答数
通学	1
通院	1
ビジネス	11
買い物	20
観光（旅行）	23
その他	19
計	75

「n = 45 人」



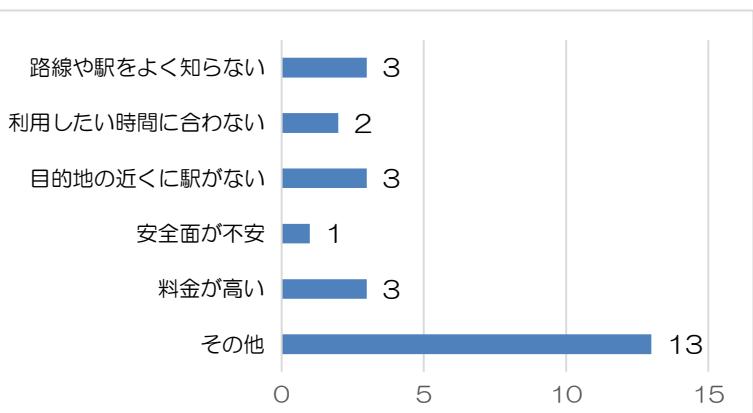
【4】【3】の「その他」 「n = 19 人」

- ・帰省、子供・孫に会う、親戚を訪ねる 10 件
- ・会議、大会等への参加 5 件
- ・コンサート、講演会、野球の応援など 4 件
- ・その他、「高速バスターミナル利用のための移動」など 2 件

【5】【1】で「利用していない」を選択した方は、主な理由を選んでください。

項目	回答数
路線や駅をよく知らない	3
利用したい時間に合わない	2
目的地の近くに駅がない	3
安全面が不安	1
料金が高い	3
その他	13
計	25

「n = 25 人」



【6】【5】で「その他」を選択した方は、その内容を記載してください。 「n = 13 人」

・自家用車を利用する 9 件

いつでも、すぐに、手軽に利用できる。

小さな子供がいるとまわりの迷惑を気にして乗りづらい。 など

・使う機会が無い 4 件

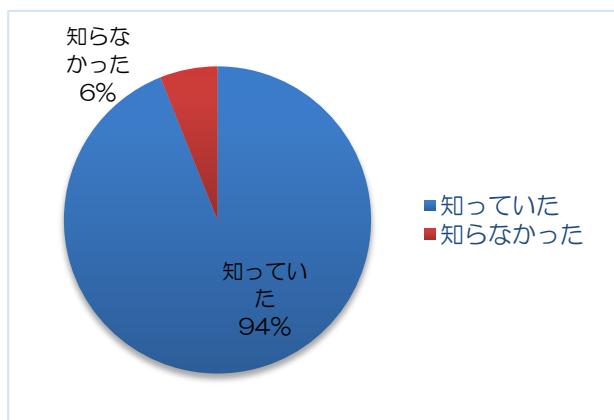
中心部にいるので、利用する機会が無い

行く用事が無い

【7】JR北海道が、利用者の少ない路線の廃止などを含めた見直しを検討していることを知っていますか。

項目	回答数
知っていた	62
知らなかった	4
計	66

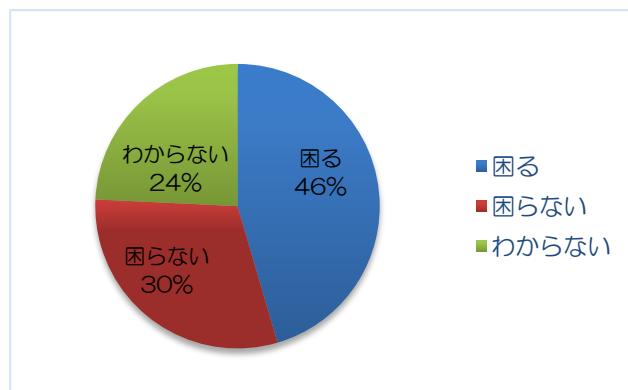
「n = 66 人」



【8】見直しの対象に宗谷本線、石北本線、富良野線が含まれていますが、この3路線について廃止となりバス転換となったらどう思いますか。

項目	回答数
困る	30
困らない	20
わからない	16
計	66

「n = 66 人」



【9】【8】の回答の理由を簡単に記載してください。

○困る理由 「n = 28人」

・鉄道の方が「時間に正確」「料金が安い」「安心」	10件
・バスは「時間が不正確」「便数の確保が不安」	5件
・鉄道が好き	3件
・その他	12件

○困らない理由 「n = 20人」

・「自家用車」を利用している	13件
・「バスがある」「バスがあれば良い」	5件
・その他	2件

○分からぬ理由 「n = 6人」

・今は利用していない、必要ない	4件
・メリット、デメリットが不明	1件
・その他	1件

※個別の意見は「意見詳細」のとおり

【10】その他、鉄道について、自由に記載してください。

「n = 51人」

・鉄道は必要	27件
「国の責任」「自治体で負担するべき」「利用を増やす取り組みが必要」など	
・廃止するべき	6件
「路線存続は現実的ではない」「収益の出ない路線は廃止るべき」など	
・その他	24件
「JR北海道の経営の責任」「鉄道の廃止は移動の利便性を確保してから」「鉄道が無くなるのは寂しい」など	

※個別の意見は「意見詳細」のとおり

※意見詳細

【9】【8】の回答の理由

○困る理由

1	鉄道なら冬でもある程度時間通りに、早く中心部にアクセスできるがバスになると時間がかかり、通学が大変になる。
2	冬季間はバスだと時間遅延の心配があります
3	貨物輸送が高額になり、農産物が値上がりするから。
4	趣味で汽車の乗るのが好きだから
5	歳をとってからの各地方への移動、故郷への移動などはやはり安全なJRが必要。
6	利用者ではないが、利用者のことを考えると、バス路線になった時に、目的の場所が、遠くなる場合があると思うので、そこをどう対処してくれるのか疑問。景色が変わると、揺れが大きくなるため、周りとの会話がとれないなど、不便
7	利用している客の目的を本当に知っているのかと思います
8	鉄路は、バス等の他の公共交通機関に比べて、運行ダイヤの正確性、所要時間の短さ、冬期間の安全性
9	市内移動に使用している
10	過疎化・高齢化の急進する中での鉄路廃止は非情。
11	利用している人が困るだろうし、交通手段は多い方がベター
12	自家用車を利用しているが、運転できない時期が必ず来る。病人や通学生、身体障害者には、最も頼りになる公共交通機関である。重量のある農産物などの大量輸送には最適の省エネ交通機関である。
13	高齢になったら列車で道内を旅行したいと思っている
14	地域の産業が衰退してしまう
15	通学で使っている学生が不便になるのではないでしょうか
16	富良野線はとてもよく使うし、いざというとき不便。バスはわかりづらく体調の悪いときは不快。富良野から旭川までバスが充実するとは思えない。
17	バスだと旭川駅まで20分近くかかる所を8分で行けるので小さな子どもを連れていても飽きるまえに到着できていたので便利だったから。
18	友達などが。観光に来た時によく使うし、バスよりつかいやすい
19	列車が大好きだから…では、あまりいい回答にならないですね。
20	バスでは安全性が不安。時間も鉄道の方が正確で安心する
21	自身ではないが、通学に使っているお子さんや通勤に使っている方を知っているので
22	交通費が高くなる、時間が正確ではなくなる
23	家族が利用している。JRの方が安心できる
24	バスだと、酔いややすいので、バスより鉄道の方が疲れない
25	利用したい時に鉄道の選択肢がないのは困る
26	冬期間、安全性に疑問が残る
27	自分はその路線を利用していないが、地域住民や観光客は困る。
28	高齢社会になり車の運転が困難になる。観光を産業として考えると、拠点になる路線がなくなるのは観光にも影響する。

○困らない理由

1	自動車で移動できる為
2	今のところ利用していないので
3	利用する機会がまったくないため
4	利用しないから
5	JR北海道の鉄道全ての廃止にならない。
6	利用しないから
7	私は、利用する事が無いので。日頃利用されている方は困るでしょうね？
8	代替交通機関がある。
9	利用することがほとんどない。あるとしてもバスの転換があれば、バスを利用する。
10	ほとんど利用していないから
11	日常的に利用していない

12	代替え手段を考慮してもらえば、それで十分です。
13	困らないが通学生や通院の高齢者ために便宜を図ってほしいです
14	使用しない 行く時は自家用車
15	JRはすぐ止まるし使い物にならないから。整備の問題なんだかしらないけど、JRは危機感がなさすぎる。
16	今はほとんど乗ることがありません。子どもが大きくなったら移動手段として利用するかもしれません、車やバスがあれば不便に感じことはないと思います。
17	乗らないから
18	利用していないので困らないし、鈍行だとバスと大して所要時間は変わらないから。
19	車があるから。足が不自由なため JR 駅のエレベーターなどがないと大変である。
20	こちら方面は使用しないし、使う時は自家用車。

○分からぬ理由

1	日常で利用していない為。廃線の対象になっている路線から旭川市内の学校へ通っている人達を輸送するのにどちらが効率的で各々に負担がかかるのか等のメリット、デメリットが不明な為
2	今現在は必要ではないから。
3	いまは、利用していないので、わからないが、今後利用することになったら、不便をかんじる。
4	自分が利用していないから
5	廃止になると、困る方が居たりするので、道民としてはとても寂しいです。(20 年前は高校生のときは通勤で使っていたので。バスの定期代より、鉄道は定期代が安くて助かりましたから)
6	あまり利用したことないから

【10】その他、鉄道について、自由に記載してください。

1	最近 JR 北海道が路線の見直しを行っていますが、まさか自分の使っている富良野線が単独では路線維持が困難な路線に分類されているとは、最初に聞いた時は驚きました。朝、通勤通学時間は旭川駅方面行が満員状態で、昼も主に高齢の方々が買い物の足として利用し夜も遅くまで多くの便が混んでいるのに、もし富良野線がなくなったりしたら沿線沿いの人間としてはとても困るし、そこにわざわざ住んでいる意味も薄れてしまいます。またこの季節には富良野ではラベンダーが咲き誇り、富良野線を外国人観光客もとても多くなっています。観光列車ノロッコ号もかなり混雑している様子が見られます。私は日本屈指の観光名所を通る富良野線はまだまだ可能性を秘めた路線だと思います。きっとこれからリピーターが増えれば団体ではなく個人で旅行し、鉄道を利用する方も多くなることでしょう。もちろんこの路線が赤字なのは一時たりとも忘れたことはありませんが、利用者として、そしてこの地域の発展を願っている者にとってこの路線はぜひとも残し、活用してほしいと思います。長文失礼しました。
2	少ない利用者や JR 北海道の現状を考えると、路線存続は現実的ではないと思います。又、自治体の費用負担も財政が厳しい現状ですから、費用対効果をよく考え慎重に議論すべきです。
3	利益の出ていない路線は必要とされていないという意味であり、即刻廃止すべき。
4	個人的には困らないが、困る人がわざかでもいるのなら、数を少なくしてでも維持できたらいいとおもう。
5	JR北海道のスーパー特急、北海道新幹線、普通列車等の利用して欲しい。
6	利用者が極めて少ないのだから廃止されても致し方無い
7	利用促進も大切だが、産業基盤としての鉄道という側面を忘れないでほしい。
8	私の父親が国鉄に勤めていました。その当時、私も子供ながらに民間企業との仕事に対する意識の違いを感じていました。父親も、それを感じながら生活の為に働いていたんだと思います。私が成人になるのを待って早期退職をしました。その頃の労働意識の勘違いとか、政策の間違いの結果が今の現状なのでは?新幹線とか無謀な計画は進めて欲しくないです。タクシー、バス等をもっと有効利用させて行くしかないのでは?
9	JR線路・関連施設・電気・通信・枕木・授記伐採・用地の崩れ変形保全・老朽化はひどく 設備修理費はJRのみでは費用捻出できなく 修繕しても 利用客が増える見通しはないし 旅行者や外国人もレンタカーなど 行きたい場所へ好きな時間で行き当たりばったりな移動もしたいので、場所と時間制限受けるJRは不利となる 今後JRは線路保全の体力費用あるなら北海道縦断SLツアーなどスポット的な観光企画や不定期な企画・市町村の催事応援ツアーやお祭りツアーナ・流氷祭り:幡龍まつり:旭川なつまつり:深川笠?祭り:帯広花火大会など・道内だがお酒の関係もあつたりで車で行けなく、夜間運転に自信がない人は多いと思う JRにとっては決断の時・遅くなっても好転はしない
10	鉄道事業見直しの一番の原因是地元住民が利用しなくなつたためと考える。まずは国や道にお願いするだけではなく自治体を含め住民自ら利用する方法を考えるべき。その一方で、国の施策の誤りも一因である。人口密度がそこそこ高い九州と北海道とを同一で考えてきたことは無理がある。特に北海道は冬期間のJRは必要不可欠であり、昔は「雪に強いJR」などのキャッチフレーズで一世風靡したJR北海道であるが、潤沢なお金のあるJR東海やJR西日本と違い運賃収入が限られていたこと、またホテル事業に手を染めたことなどの失敗で破産寸前である。日本が北海道を必要とするのであれば、それなりの対価を支払うべきである。
11	各自治体で存続運動をしているがどうの自治体で利用していないのにおかしい事。負担金も出さない、その上地域の衰退の責任 JR 北海道の責任にするのは理屈が通らない話。JR も民間企業なのだからもう少し大人の対応が必要です。北海道の対応もカッコばかりつけて三者会議など金のかからない事ばかり、金のことになると国に責任をなすりつけている事も問題。
12	時代の流れなのか、「企業としての利益追求」ばかりが先行しているように思われる。 地方都市の高齢化や少子化は、都市部の者には実感として不自由さが感じられていない気もする。やはり、これからは高齢者や子供たちの未来のことを考えると、単純に赤字路線を減線して行くのではなく共存していく道を摸索すべきであろうと思う。
13	交通弱者が居る事には理解出来る。しかし、この様な状況になる事は薄々JRも把握していると思う。北海道は車社会であり殆どの家庭が車を保有している状況を考える幕と思われる。原点に還り必要と思える鉄路だけ利用する方が賢明。赤字を出してまで運行継続には無理があります。
14	特記すべきことはありません。

15	地方の鉄路をなくす事は毛細血管をなくすようなもの。地方は動脈だけでは生きられません。都会の新幹線だけがどんどん稼ぎふところに。そして昔からの地方の枝葉の路線を廃止していく考えには賛成できません。過去の分割・民営化が間違いでは？？、JR北海道はJR東日本と合併しては？四季島のような観光列車・道内各地への周遊列車をどんどん企画し、通り抜ける地方の沿線自治体に利益を分配するとか、などまだまといろいろ策はあると思います。どこかの自治体で、折角鉄道の道があるのだから昔ながらの狭軌の気動車を安い経費で走らせる案もあるみたいです。ちょっと興味が湧いてきます。
16	JRとは民間の会社なのに、いまだに国鉄時代の気質が抜け切れていないような気がする。
17	赤字路線でもなんでもいいや。みたいな体質が残っているように思える。もっと、努力をするべし。もっとリストラ等を実施して、不要な社員のカット、体質改善をするべし。組合の力が強すぎなのではないか？
18	旭川・札幌の料金特急料金が高い。また往復は4日？程度と短い。バスとの価格差が大きい。
19	JR北海道は誰の為のJR北海道なのかですよね、今までどれだけの道民が利用してきたかを良く考えてほしいと思いますよね、通勤、通学、通院などJR北海道を当てにしている人が多いのを良く分かってほしい。儲かる路線のみしか運行しないと多分今後会社の運営は成り立たないとおもうし北海道新幹線が札幌まで開通した時に道民はどの交通機関を利用して札幌まで新幹線に乗りに行けばいいのか考えてほしいですよ。
20	鉄路は、道路と同じものの考え方が必要であり、人口の少ない地域、冬期間の運行経費からして、北海道単独での経営は最初から間違っている。
21	貨物、宅配、自転車の移動、新たな社内販売、移動オフィスなど人の移動を含め新たな活用方法を増やしてはいかがでしょうか？
22	高橋知事は、飛行機と公用車利用が99.99%。とか。このような実態で、民間企業に赤字経営を強いるのは、問題ではないでしょうか。旭川市役所職員の、通勤・出張時の交通機関利用状況データを把握・公表していますか？バス・JRを存続したいなら「100回の陳情より1回の乗車」ですね。あなた方職員が、実態を調査・公表し、率先垂範してから解決策を検討・提案すべきですよ。
23	利用者の減少、線路・車両・施設の老朽化で、雪国での運営等営利だけが目的ではJR北海道だけに負担を負わせずに地域の自治体の支援と道としても応援して行ってほしい。いろいろな格差が問題になっている現在、地方に住む学生、通院する高齢者や病院にかかる人たちのために一方的に廃止路線を打ち出すのは酷です。JRだけに負担させるのではなく自治体の取り組みが住民の格差をなくし地元の生き残りとなるのではないかでしょうか。
24	乗客数減の実態は今後も引続くと思えるので、現状のままでJR北海道単独での経営は不可能に等しい。国、道、沿線自治体で相応の経費負担で対応すべき。
25	Sキップも無くなりバスの利用が増えている。
26	日本の食糧生産や石炭などのエネルギー供給に重要な役割を果たしてきた北海道の鉄道を経営効率の悪さだけを理由に次々と廃止することで、地域の過疎化が急激に進んだ。大きな問題である。国鉄の分割民営化で自然的条件や産業面での重要さを考慮せず、JR北海道が他の地域と切り離されたことについて、麻生副総理が「初めから問題があった」と指摘している通りである。このような問題とは別に、本来の公共交通機関に求められる役割を忘れ、各地域のJRが競うように一度の乗車料金が低所得者のひと月分、ふた月分にも相当するほどの贅沢な列車を走らせており、赤字のはずのJR北海道まで乗り遅れまいとする風潮である。観光で街おこし、地域おこしも結構だが、経済的に恵まれた少数のものだけに歓迎される鉄道であってはいけないと思う。
27	JRの存続についてはやはり、JRだけに負担を負わせない。道内の市町村全体で負担するのが良いかとおもう。列車は必要だが負担はしたくないと思っている市町村は多いが、虫が良しげる。あまり国をあてにしない。市町村で負担する。残してほしいのは宗谷線、石北線です。（理由は道内在住高齢者の旅行の為）富良野線は富良野沿線は廃止のほうが良い。理由は富良野沿線は観光や食事処が多く車で移動したほうが良いと思われる。それで自動車道路をもっと整備する。例えば道路幅を広くしたり、駐車場を広くしたり、案内板を充実することが重要だと思う。
28	鉄道の受益者は、単にその利用者や鉄道事業者に限らず、国や道、市町村も該当する。どのような恩恵を受けるか、それによって、受益者負担を考える必要がある。従って、路線ごとの関係自治体による協議は、その路線の存廃の議論に陥りかねないと考える。道内空港の一括民営化が進められようとしている一方で、鉄路は、地域ごとに分断されるのか？物流を含め、道内交通網の在り方について、抜本的に見直す絶好の機会と捉えたい。
29	北海道は冬に時期もあり本来は国が支援すべき。JRだけに責任をかぶせるのは酷である。
	国、北海道が真剣に医療・産業・観光に立脚した責任を感じてもらいたい。
	鉄道 札幌から旭川の遅延が多い 鉄道という乗り物なのでしょうがないこともあるが雪国の乗り物として使用するには冬は不便。

30	JR北海道は速いし遅い時間まで運行はしてるけど、昔みたいに頻繁に使いたいと思わない。高いし止まることもある、信用性がない。バスに乗ることが増えたが、昔に比べバスの待合所は混むようになってる。臨時バスも。
31	高校生当時、美瑛高校に通っていたので、富良野本線は通学で使っていました。始業に間に合わせるには2本しかなく、満員の中、毎日必死で通っていました。JRが無くなると、バスのみになってしまい、尚更不便になるような気がします(バスは始業までに現行1本しかありません)。
32	特にありません。
33	あちこち路線が廃止になり、だいぶ昔になりますが旭川から佐呂間まで乗り換えて行くことが出来ましたが、今は遠軽まで。そこからいつ来るか分からんしバスに揺られ、タクシーでの移動。車で行かないと難しい。札幌まで運賃もまた高い。冬なら仕方ないないが今時期は汽車に乗るのに抵抗あります。
34	あまり使われない線であっても、確実に必要としている人がいると思います。新幹線なんかより地元の生活を支える地域のJR線を確保することにお金を使ってほしい。バスとJRは全く別物だと思いますし、本当にバスがそこまで充実して、なおかつわかりやすく利便性を確保できてから廃止するべきだと思います。そんなに地域の線をなくすなら立派な旭川駅はいらなかつたと思います。
35	通勤、通学では、いまは、まったく使用していないが、利用することになれば、不便をかんじながら駅の近くに用事があるとは、限らないので、駅着だと、そこからの便が不便をかんじそう。
36	年に何回か、サービスデイなどがあると使いたいなーと思います
37	全く利用をしないので、わかりません。
38	無くなるとなると、道民としては危機感を感じます。また、それを聞くと今のうちにすべての路線の鉄道を使って旅行に行きたいなあーとも思いました。仕事関係で言えば、鉄道のコンテナ車とか必要だと思いますし。。。それがトラック配達になる感じでしょうか？通勤で言えば、バス代よりもはるかに安い鉄道の定期の通勤で定期代が安くて早く便利だと思う人も多いと思いますし。 しかし、ここ何年かのJR北海道の経営確保線管理等の維持費関係で見ると、どこかから助けるためのお金を出してあげないと経営出来ないのかもしれません。道民なら少しでも助けるための募金などを募つたら出してくれると思うが。。。微々たるものでしょうか。。。有能な会社からの出資、国や、市からの補助金とか。。。とにかく助けるためのお金は必要ですよね！
39	利用者が少ないと、廃止になっちゃうということで、利用しています。これから、鉄道はどうなっていっちゃうでしょうね…？
40	鉄道は時間に正確で安全という安心感がある。マイカーでの移動が当たり前になった現在でも、高齢化社会では欠かせない交通手段であり、駅が地域に貢献する役割は大きい。 利用者数の回復に向けてもっと積極的になってもいい。ただ赤字補填という帳簿上では利用者の目には見えない。利用者への還元として乗車券の補助など目に見えて「車よりお得」「車移動より楽しい」を前面に出して支援をしてほしい。
41	バスよりも時間が正確で快適に利用できます。私は現在子育て中ですがひと段落したらぜひ鉄道を利用して旅行を楽しみたい未来があります。年に一二度子供たちと乗りますがとても喜び非日常を楽しめます。廃線にならないために利用をもつとしたいと思います
42	移動手段だけでなく、付加価値をつけたイベント列車を入れてはどうか。道北は星が綺麗だし、月明かりのそば畠もいい。
43	札幌に行くのに利用はしている。富良野線は、駅から行先までが不便なので、ほとんど車を利用している。JRを使った観光プランをいろいろ考えて、観光客に利用してもらう。 特に富良野線は、学生が使用していることが多い。廃止になると困る人が多くなる。
44	予算もないし、人口も少ないので非現実的な事だとは十分承知しているが、札幌のように、旭川にも地下鉄があつたらなと思う。
45	農産物の物流がトラックのみになると、今まで通りでいられなくなるのではと不安。鉄道があるから町同士のつながりがあるけれど、バスに乗ってまで行こうとはしなくなるのではと心配
46	冬はJRだったけど、最近はよくとまるし、金額がたかくなつて、なかなか利用できない。千歳まで乗り換えになつて不便。函館、青森間が新幹線だけって、何を考えているのか。これでは鉄道離れも仕方がない。
47	馴染みのある鉄道路線が廃止されると通勤通学の足として利用している人には死活問題。観光客にも旅行情緒たっぷりの移動手段がなくなるのは旅の魅力も半減してしまう気がします。時代の流れとはいえ寂しいですね。

48	ふるさとが田舎だったので、鉄道・汽車と言うと、子供の頃親と乗ったり、学生時代交通手段だったりと。そんな路線も十数年前廃止になって寂しいし想い出深いものです。何故かはわからないのですが、今も昔も汽車が通ると 手を振ってしまいます。夜車内に明かりがついた汽車が通過しますと切なく、悲しくなるのです。
49	国と道およびJRの責任を明確にして話し合い、解決すべき。沿線自治体に責任を転嫁するなどとんでもない。
50	外国や本州の観光客は、北海道は広大で交通手段が不便との思いで帰って行く。それが益々不便になり、観光を メインにしている地域は大打撃を受ける。番外だが、JR 窓口員は不親切この上ない。特に緑の窓口担当員。
51	国鉄が民営化されたときに充分想定されていたことです。将来を見通した政策・行政の失敗です。29%足らずの乗車率の新幹線の整備をするのであれば、道民の足をしっかりと守るべきでしょう。首都圏と地方は根本的に鉄道のニーズが違うと思いますので、しっかりと守る必要があります。